



みんなの SDGs の紹介!

令和3年度中に日本福祉大学の学生と行ったインタビューの最終報告(第6弾)です! 令和3年度には10の企業・団体へのインタビューを行いました。ご協力いただいた企業・団体の皆さんありがとうございました! 今年度も日本福祉大学の学生とのインタビューを実施します! 今後の記事もお楽しみに♪

CoderDojo Owari



インタビュアー:
日本福祉大学 伊藤優作さん



プログラミングを通して子どもたちの自発性を伸ばす!

2017年に自分の子どもたちにITに触れる機会を与えたいという気持ちからプログラミング道場を岩倉市に立ち上げたKatzさん。

垣根のないボランティアグループを目指し、子どもたちが成功体験を得られるよう無料で学習の場を与えています。子どもにアドバイスはしますが、指示はしていません。子どもがしたいことに寄り添う教育に力を入れています。

例えば、簡単なゲーム作成からゴミを自動判別できるAIカメラの開発まで、とプログラミングの幅は広く、子どもたちが自ら主体的に挑戦しています。

道場では、詰め込み教育から脱却し、プログラミングを通して、自分で考えることの重要性を子どもたちに体感してもらいたいという強い気持ちを感じました。

この取組はSDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」、目標8「働きがいも経済成長も」に繋がっています。



▲代表のKatzさん

地域のしあわせを考える会



インタビュアー:
日本福祉大学 西森元紀さん

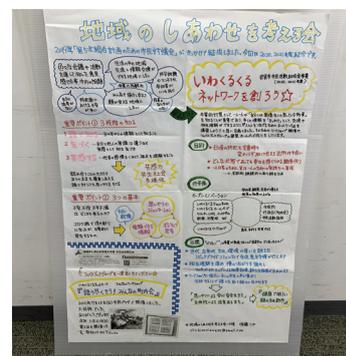


知ること、理解することから思いやりは生まれる!

2019年に行われた第5次総合計画のための市民討議会をきっかけに結成した市民団体で、幅広い年齢層の人が所属しています。月に1回ミーティングやワークショップを開催しています。

「自治区活動見学ツアー」といったワークショップやFacebookの運営を行い、自分の住んでいるまちについて考える機会を設けています。また、2020年度からは誰もが情報を得ることができ、その情報をきっかけとして相互理解や交流などが出来る「いわくるくるネットワークを創ろう☆」という事業を行っています。これらの活動はSDGsの目標3、10、16に該当します。

地域のしあわせを考える会の活動は、お互いを認め合える多文化共生社会や多様性を重視しており、岩倉市内の人たちが気軽に参加出来ることが良いなと感じました。また、いわくるくるネットワークも必要な情報を幅広い人々に知ってもらうことを目的としているため、誰も取り残される事がない社会につながっていき、これからの時代には必要だと感じました。



後藤りかさん
地域のしあわせを考える会

●問合先 秘書企画課企画政策グループ (☎ 38-5805)